

文部科学省委託事業「気候変動適応研究推進プログラム」
Research Program on Climate Change Adaptation (RECCA)
～流域圏にダウンスケーリングした気候変動シナリオと高知県の適応策 (RECCA 高知) ～

RECCA 高知 H23 年度公開セミナー(1)

「地球温暖化・気候変動の影響下における流域圏の水文・水資源と防災・環境研究の俯瞰的課題」
～開発からマネジメントそしてポリシー(政策シナリオ)へのサイクルと課題を俯瞰する試み～

日時：平成 23 年 5 月 29 日(日) 10:00-16:30

場所：高知高専専攻科棟(4 階)講義室(2) <高知空港から：徒歩で 10 分>

★★★ 公開セミナーにつき参加費無料 ★★★

【主催】流域圏学会

【共催】高知大学、高知工科大学

【後援】高知県・高知県教育委員会・高知市教育委員会・(財) 四万十川財団・四万十川総合保全機構(確認中)・西日本科学技術研究所・NHK 高知放送局・RKC 高知放送・KUTV テレビ高知・高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局

プログラム (案-9)

セッション(1) 座長：村上雅博(高知工科大学)

10:00-10:10 ●趣旨解説：「RECCA 高知」と水文・水資源/防災・環境グループの俯瞰的研究課題

西森基貴(独立行政法人・農業環境技術研究所・主任研究員、RECCA 高知・研究代表)

☆セッション(1) 座長：河原能久(広島大学)

10:10-10:30 ●グローバルな気候変動対応 IPPC シナリオの課題

鼎信次郎(東京工業大学 大学院情報理工学研究所 情報環境学専攻・准教授)

10:30-11:00 ●地球規模海水準変動と沖積氾濫原湿の地下水環境変動

辻和毅(熊本大学・客員教授)

11:00-11:30 ●地球温暖化の影響下における北海道の河川と災害対応策の課題 <仮題>

泉典洋(北海道大学・大学院・工学研究科・河川・流域工学研究室・教授)

11:30-12:00 ●水災害軽減対策と適応策研究の課題 <仮題>

河原能久(広島大学・工学研究院・社会環境空間部門・地球環境工学講座・教授)

12:00-13:00 ●昼食

セッション(2) 座長：岡田将治(高知高専)

13:00-13:30 ●海洋と沿岸海域における環境変動研究の課題 <仮題>

日比野忠史(広島大学・工学研究院・社会環境空間部門・講座地球環境工学講座・准教授)

13:30-13:50 ●キシミー川(フロリダ州エバークレイズ)自然再生プロジェクト

山下慎吾(魚と山の空間生態研究所)

13:50-14:10 ●四万十川の天然スジアオノリの生育環境について

岡田将治(高知高等専門学校・環境都市デザイン工学科・准教授)

14:10-14:40 ●高知において気象災害をもたらす擾乱の特性

濱田一平(高知大・大学院、佐々浩司(高知大学 教育研究部 自然科学系 理学部門・教授)

14:40-14:50 ●休憩

セッション(3) 座長：藤村和正(明星大学)

14:50-15:20 ●地域コミュニティー防災計画の俯瞰的課題

三牧純子(国立民族学博物館)

15:20-15:50 ●流域圏における総合計画と環境工学研究の俯瞰的課題 <仮題>

清水芳久(京都大学大学院工学研究科付属・流域圏総合環境質研究センター・教授)

15:50-16:20 ●流域圏における循環型プロバイオテイクス環境農業と社会システム研究開発の俯瞰的課題

松下潤(芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 環境基盤研究室・教授)

16:20-16:30 ●ラップアップ <次年度(H24 年度)の研究計画>

モデレーター：西森基貴/村上雅博

c/o

〒783-8508 高知県南国市物部乙 200-1
高知工業高等専門学校 環境都市デザイン工学科
岡田将治 (Shoji Okada)
Tel.&Fax. (Lab.) : 088-864-5654
Mobile Phone : 090-9734-2619
E-mail : okada@ce.kochi-ct.ac.jp

気候変動適応研究推進プログラム (RECCA: Research Program on Climate Change Adaption) とは？
[http://www.mext-isacc.jp/]

気候変動予測の成果を都道府県あるいは市区町村などの地域規模で行われる気候変動適応策立案に科学的知見として提供するために必要となる研究開発を推進しています。

将来の気候変動影響を考慮した適応策の立案には科学的根拠となる気候変動予測情報が不可欠となりますが、現在の気候変動予測の空間解像度は地域規模の検討に使用するには粗いなどの課題も指摘されており、気候変動予測の時間的、空間的な分解能を向上させることや、予測に含まれる不確実性を低減することが必要です。また、全球規模の気候変動予測成果を利用する気候変動適応シミュレーションは、対象地域の社会的な実情を十分に考慮することによって、効果的な適応策立案に必要な科学的知見を政策決定者や利害関係者に提供できるものと期待されます。

高知工業高等専門学校 へのアクセス

